

2013年3月10日生物多様性を活かした地域づくりの今

ここからはじめる 生物多様性地域戦略

公益財団法人日本自然保護協会
朱宮丈晴

国連生物多様性の10年日本委員会

2013年3月10日 シンポジウム 生物多様性を活かした地域づくりの今
※無断転載禁止

日本自然保護協会

日本自然保護協会(NACS-J)



調べる



守る



広める



日本の自然を守って61年
全国2万人の会員の方と共に
全国で活動する自然保護NGOです

生物多様性条約COP10の成果と 日本の宿題

- ▶ **愛知ターゲット**の採択＝2020年までに絶滅危惧種の保護や自然公園の保護、だけではなく、「地域づくり」の文脈で、取り組む必要性
- ▶ 生物多様性の保全に向け今後10年間の取り組みの重要性を踏まえ、第65次国連総会で2011－2020年を「**国連生物多様性の10年**」とする決議が採択。
- ▶ **新しい生物多様性国家戦略2012-2020**（9月28日閣議決定）の検討と、それと連携する形で策定が進む、「生物多様性地域戦略」

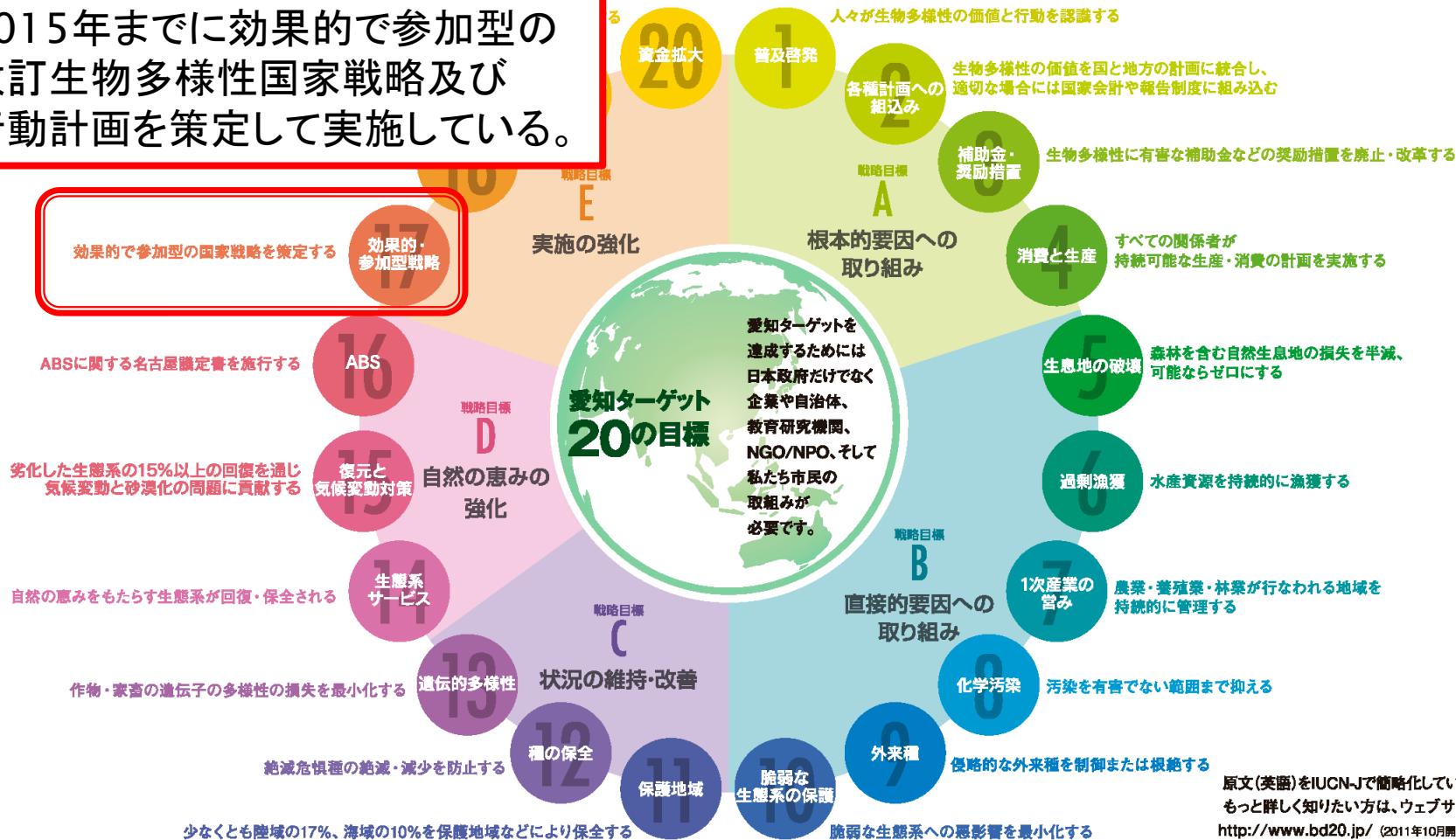
愛知ターゲットとは

生物多様性を守るために
今後10年間の方向性

COP10の最大の成果の一つが「生物多様性条約戦略計画2011-2020（通称、愛知ターゲット）」です。
これは、生物多様性条約の今後の方向性を定めたもので、2020年までに達成すべき20の目標を定めています。

2050年までに自然と共に存する社会の創造を目指し ながら、2020年までに生物多様性の意味と価値を
全ての人が理解し、社会の常識となり、生物多様性 の損失を止め、回復力のある生態系を確保する。

2015年までに効果的で参加型の
改訂生物多様性国家戦略及び
行動計画を策定して実施している。



生物多様性「地域戦略」が持つ可能性

- ▶ 市町村スケールであれば、具体的な「**保全すべき場所・個体群**」に言及できる
- ▶ 計画の作成・実行において、**地域の市民(市民団体)**が主役となる
- ▶ 小回りのきく行政規模。**縦割りを越え**、他部署の上位計画への反映が期待できる
- ▶ 多様な市民団体、一般市民を主役として巻き込みやすい規模
- ▶ 生物多様性基本法によって策定が努力義務となり、COP10でも「**都市と地方自治体の行動計画**」が採択された

地域戦略策定状況

	策定自治体	自治体数	割合(%)
都道府県	39	47	83.0
市町村	41	1719	2.4
特別区	2	23	8.7
2012年10月現在			

ほとんど市民参加が、なされていない！



生物多様性アジア戦略
横浜国立大学グローブ COE
アジア視点の国際生態リスク
マネジメント

生物多様性の道プロジェクト

市民が育てる、暮らしと自然の未来像(NACS-J)



- ▶ 愛知ターゲット実現に向け、**地域住民はじめ多様な主体が参画した実効性ある地域戦略**が各地で策定され、地域からの生物多様性の課題解決や保全が促進されることを目的

10年間のスケジュール

4-6年目戦略づくり

1か所以上の「**地域戦略づくり**」に関与。

行政区を越えた横断型地域戦略作りの支援。

地域資源の活用の実践

7-10年目実践

地域の専従者を増やす

生態系サービスを活かす
産業のモデル

自然の恵み(生態系サー
ビス)に対価を払う消費
者・市民を増やす

1-3年目ツール開発

基礎的な情報整理(ガイドブック)や、ワーク
ショップ手法の開発。

モデル地域での試行錯誤。

地域づくりに向けた普及啓発の実施

1年目の成果

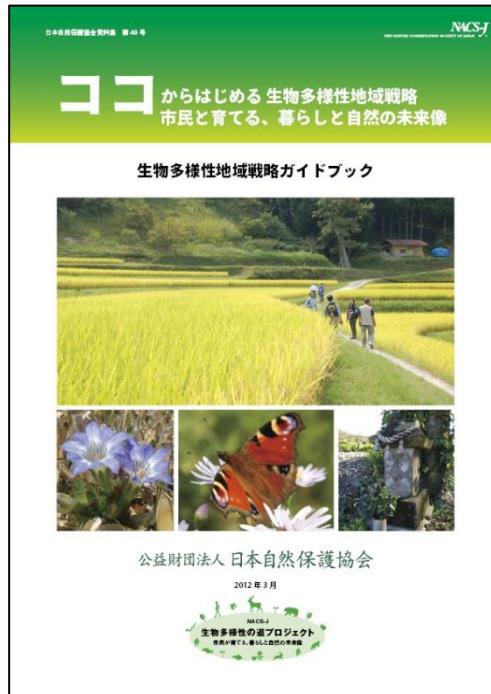
- ▶ 生物多様性を活かした地域づくりを、「生物多様性地域戦略」を活用してアプローチであり、日本自然保護協会としても、新しい取組み
- ▶ 保全の現場（沖縄、長野、千葉、宮崎、岡山）でのセミナー・ワークショップを実施
- ▶ 全国共有のためのシンポジウムを開催（2月4日）
- ▶ 生物多様性地域戦略に関する情報収集・現地視察
- ▶ 行政向けガイドブック（ver1）を作成し、市民参加の地域戦略作りを提案。
- ▶ ウェブサイトやリーフレットでの広報

NACS-Jの取り組み

2012年-13年の方向全国各地での実践



生物多様性の道プロジェクト 市民が育てる、暮らしと自然の未来像



ステップ1 市民と共に、暮らしと自然の未来像をつくろう！

- 1- ①地域の個性・財産を再発見し、活かす
- 1- ②参加型で公開性のある形で進める
- 1- ③わかりやすい言葉や絵（地図など）で未来像を共有する

ステップ2：解決すべき課題を特定しよう！

- 2- ①地域の現状を整理する
- 2- ②課題の特定と因果関係を把握する

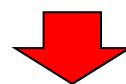
ステップ3：行動計画とその実行体制をつくろう！

- 3- ① 行動計画をつくる
- 3- ② 行動計画の評価・見直し方法を決める
- 3- ③ 計画の実施体制を担保する

生物多様性の道プロジェクト 生物多様性地域戦略ガイドブック
<http://www.nacsj.or.jp/project/waytob/2011/teian.html>

生物多様性地域戦略づくりのポイント

1. 地域の個性に向き合い、活かそう！
2. プロセスを大事にしよう！
3. 市民を相談役とし、そして主役にしよう！
4. まずは「やってみる」が大切！
5. 分野の垣根を越えよう！
6. 現実問題から逃げない！



これらのポイントを
事例とともに戦略策定手順に沿って提案

事例と共に
コツを伝える



事例13 戰略目標の達成状況をだれでもいつでも、確認し検証
できる仕組みづくり
～多様な主体が参画するための仕組み（イギリス）～

多様な主体の参画を促し、参加した人々のやる気を持続させるためには、計画の進捗状況や成果を共有することが重要です。このための仕組みとして、イギリスの国家戦略「行動計画」が参考になります。

イギリスでは、生物多様性活動報告システム（Biodiversity Action Reporting System, BARS）というウェブツールを作成して、国家レベル・地域レベル・NGOレベルの国家戦略・行動計画の進行管理を行っています。このHP上で、各地域・団体の計画・モニタリングの進捗状況などを報告できるようになっていて、いつ、どこで、どんな主体が、どんな活動を行っているかなど、全世界のだれもが見られるシステムになっています。

あわせて、毎年、生物多様性指標ポケット手帳（UK Biodiversity Indicators in Your Pocket）を発行し、生物多様性指標からみたイギリスの多様性の現状と変化を毎年報告しています。生物多様性指標ポケット手帳と生物多様性活動報告システムにより「取り組みの可視化（随時更新）」、「成果の可視化（年1回更新）」を検証の仕組みとしてつくりあげています。



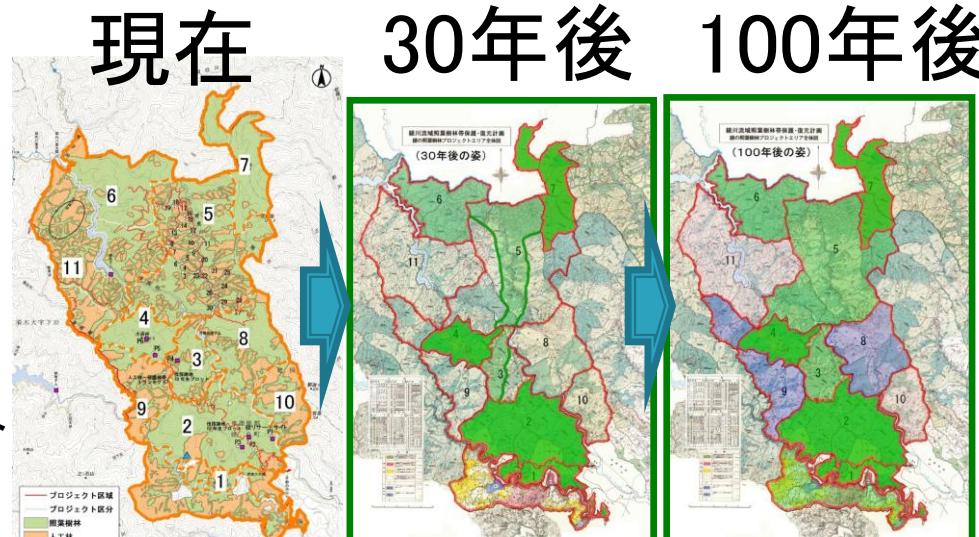
●参考資料
・生物多様性活動報告システム（BARS）
<http://ukbars.defra.gov.uk/>
<http://ukbars.defra.gov.uk/maps/planning/Index>
・生物多様性指標ポケット手帳（UK Biodiversity Indicators in Your Pocket）
<http://jncc.defra.gov.uk/page-4229>

ステップ1

市民とともに暮らしと自然の未来像をつくる

- ・ 地域の個性・財産を再発見し活かす
- ・ 参加型で公開性のある形で進める
- ・ わかりやすい言葉や絵(地図など)で未来像を共有する

綾の照葉樹林プロジェクト



人と自然のふれあい調査

宮崎県綾町

目標

地域の人たちが願う自然と共に存した持続可能な地域づくりを実現していくこと

調査の質問項目

- ①目に浮かぶ風景(視覚)
- ②耳に残る音(聴覚)
- ③鼻に思い出すにおい(嗅覚)
- ④肌によみがえる感触(触覚)
- ⑤舌になつかしい味(味覚)
- ⑥これからも大切にしたいふれあい



上畠地区ふれあいベスト9		
1	川・綾南川・きれいな川(水) 川のせせらぎ	20
2	魚とり・アユ釣り	11
3	レンゲ(畑)	10
4	川で泳ぐ・水泳・川遊び 鳥・小鳥(鳴き声)	7
5	ミカン・山ミカン(ミカンジュース)	6
6	菜の花(畑)・菜種 味噌・味噌汁・(ピーナツ味噌)	5
7	田んぼ	4
	牛・馬・とり(家畜)	4
	草・草花	4
	冬の寒さ	4
8	カエル・カジカ(鳴き声)	3
	セミ(鳴き声)	3
	人の声	3
	風(音)	3
	薪・木を燃やす・たき物	3
	秋祭り	3
9	山	2
	照葉樹林	2
	サクラ・ヤマザクラ	2
	麦	2
	堆肥	2
	木	2
	ホタル	2
	キンモクセイ	2
	キイチゴ・野イチゴ	2
	つらら・氷	2

2013年3月10日 シンポジウム 生物多様性を活かした地域づくりの今

※無断転載禁止

地域の自然と生態系サービスの再発見

上畠自治公民館・綾町・NACS-Jふれあい調査委員会(2009)

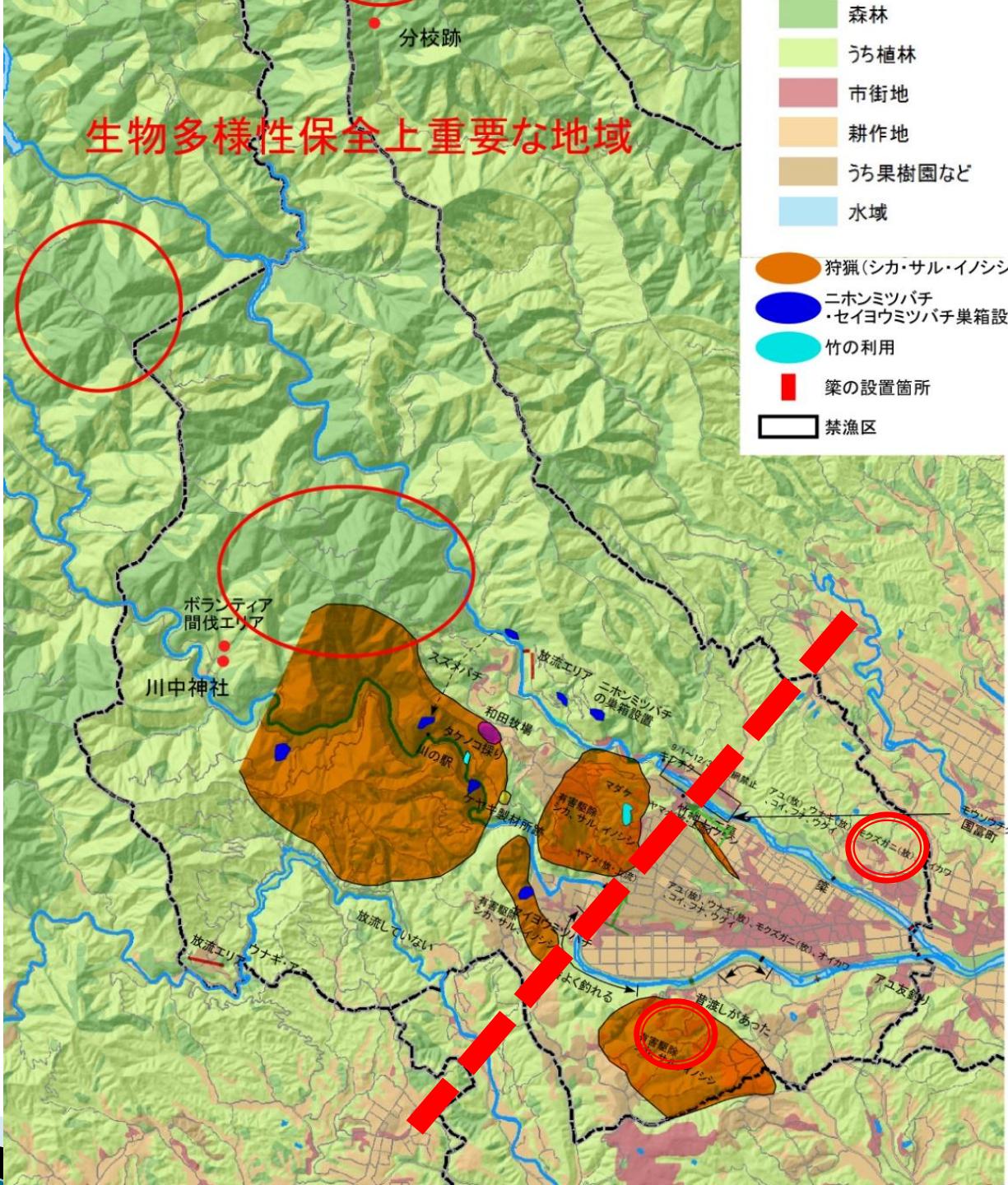
2013年3月10日 シンポジウム 生物多様性を活かした地域づくりの今※無断転載禁止

自然资源 利用マップ

宮崎県綾町

市民へのヒアリングによる
生物多様性保全
上重要な地域だけではなく生態系
サービスの利用
状況を明らかに
する。

生物多様性保全上重要な地域



ステップ2

解決すべき課題を特定しよう

- ▶ 地域の現状を把握する
- ▶ 課題の特定と因果関係を把握する

分科会1:絶滅危惧種の保全
分科会2:地域づくり
分科会3:外来種・鳥獣管理
分科会4:基盤環境保全

NACS-J主催 中池見保全行動計画づくりワークショップより(2012年3月9日～11日)
専門家、行政、NGOなど関係者約80名が参加

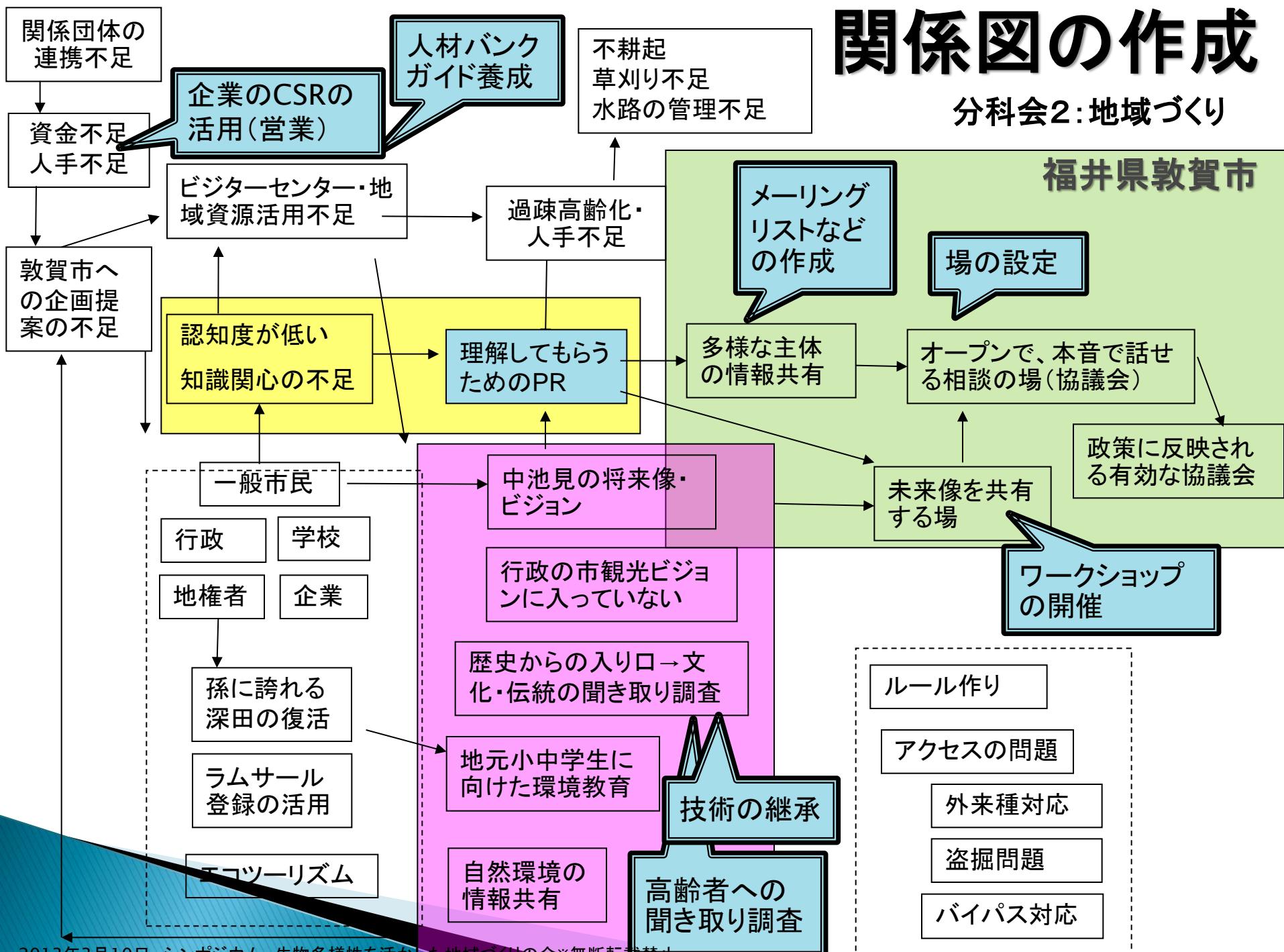


2013年3月10日 シンポジウム 生物多様性を活かした地域づくりの今
※無断転載禁止



関係図の作成

分科会2:地域づくり



保全行動計画づくり

確実に実行できる計画にするためにより具体的に記述する！

地域の現状を把握する

モニタリングサイト1000

里地調査(環境省)

NACS-J事務局

神奈川一般サイト21箇所

植物相

鳥類

中・大型哺乳類

水環境

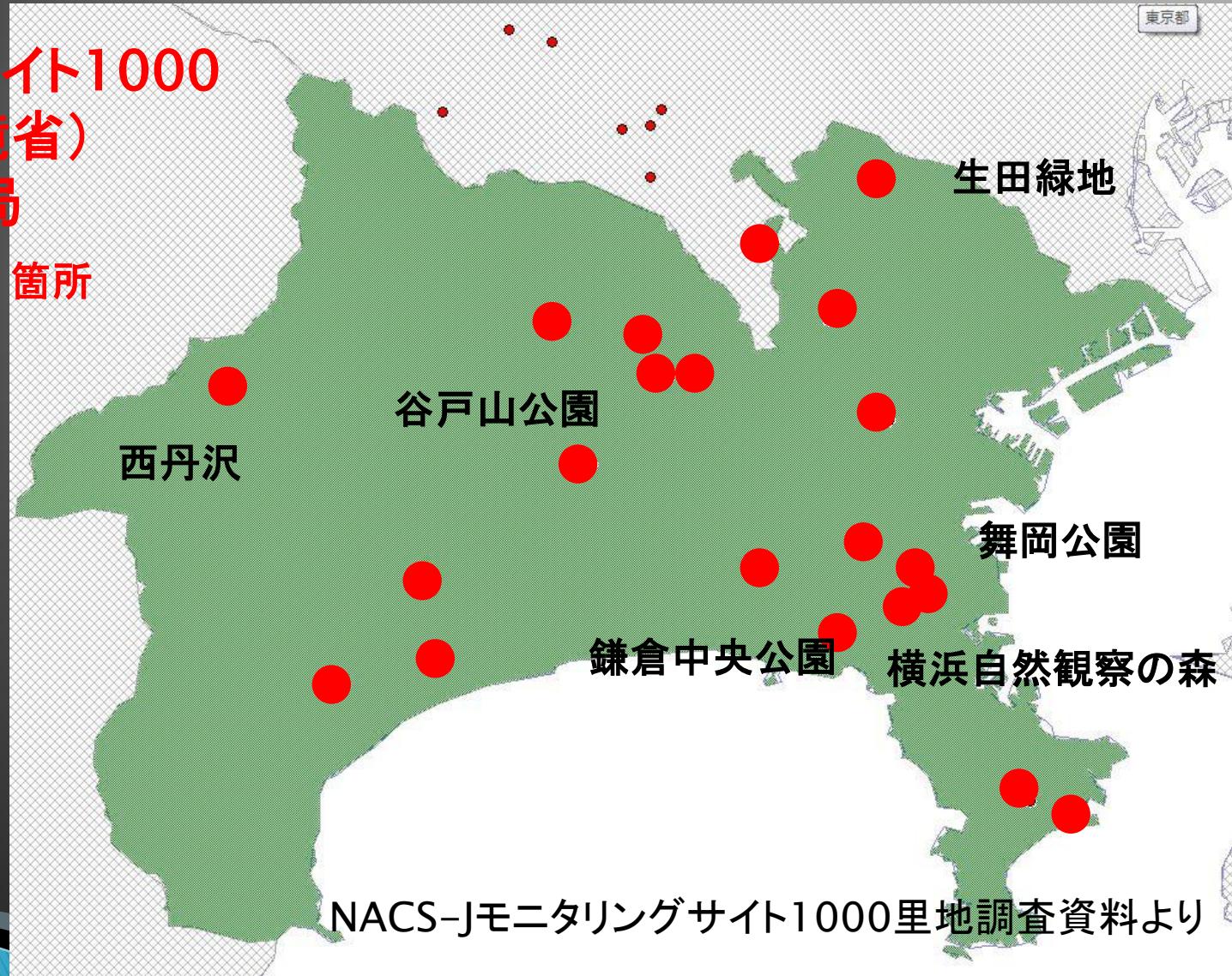
カヤネズミ

カエル類

チョウ類

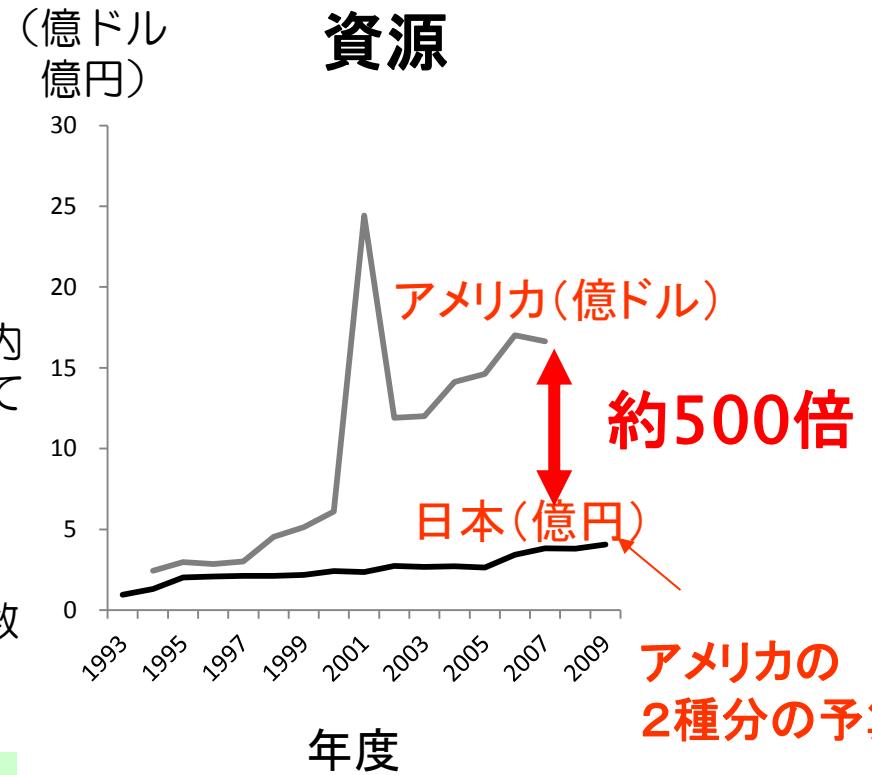
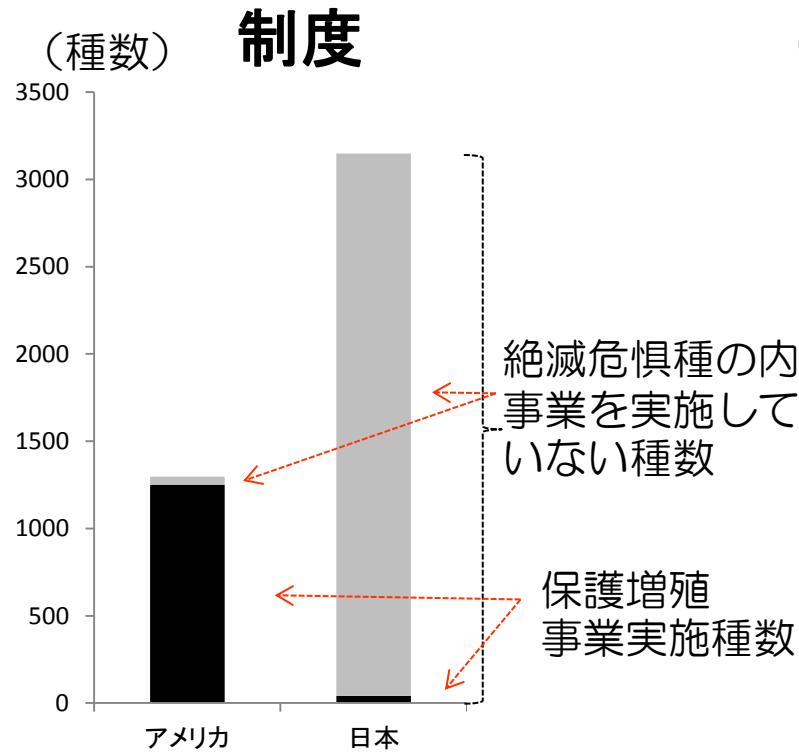
ホタル類

人為的インパクト



絶滅危惧種保全のための法制度

日本とアメリカの絶滅危惧種保全事業（2010年時）を比較してみると、



日本は調査（レッドデータブック）
と保全制度との関連性が薄い

予算不足

絶滅危惧種保全のための制度・資源が不足している
→効率的に資源を配分する必要
→環境省以外の主体の参画・連携を促進する仕組みが必要

NACS-J資料より

ステップ3

行動計画とその実行体制をつくろう

- ▶ 行動計画をつくる
- ▶ 行動計画の評価・見直し方法を決める
- ▶ 計画の実施体制を担保する



NACS-J主催鹿児島県姶良市漆保全行動計画づくり
ワークショップより(2012年1月27~29日)

協定書のとりかわし

宮崎県綾町

目標

- ・人工林を段階的に減らしていくことで照葉樹林の生態系を復元する
- ・復元を通して地域の市民が願う自然と共生した地域づくりを実現する

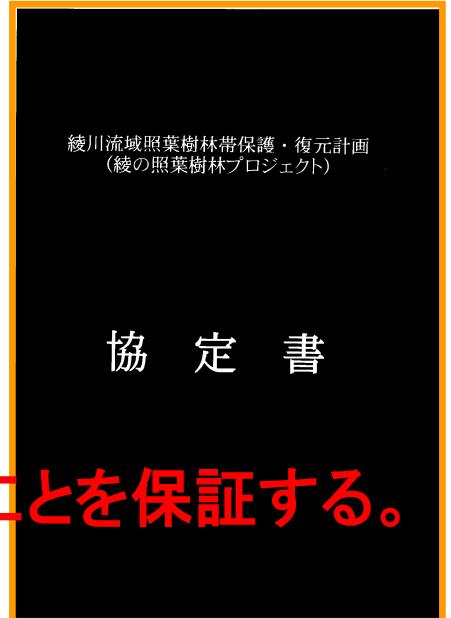
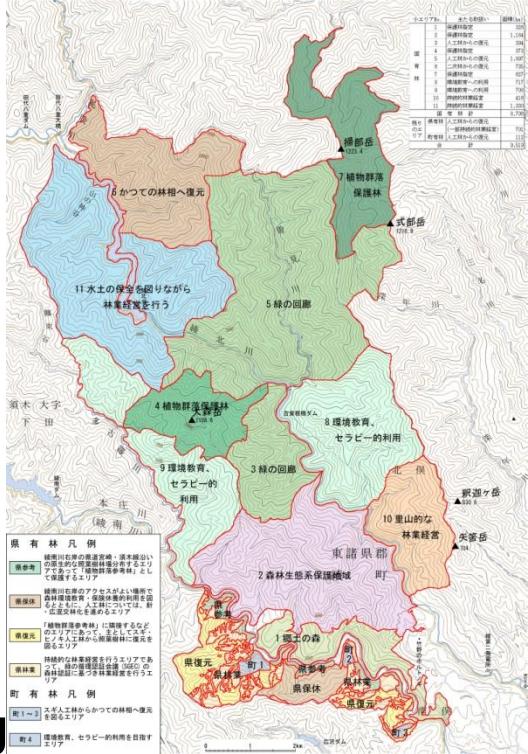
九州森林管理局、宮崎県、綾町、てるはの森の会、NACS-J

- ・「協定書」(基本10年間)(最初は7年)

2005年度～2012年度

- ・「連携会議会則」
- ・「短期行動計画及び中長期目標」
が合意され、署名・押印(2005年5月)

ゆるやかな縛りを設ける。変化することを保証する。
「順応的ガバナンス」による運用



計画づくりと評価体制

綾の照葉樹林プロジェクト

2004～2012年

50年から100年継続する



全体



九州森林管理局



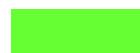
宮崎県



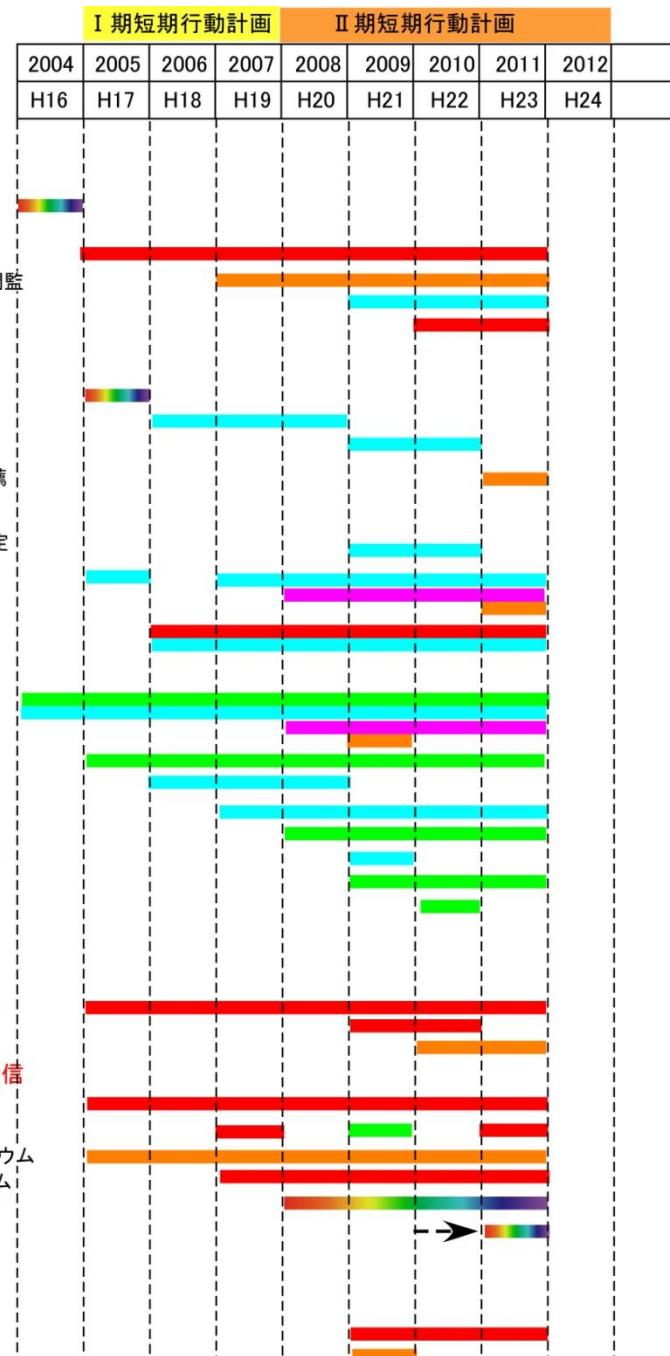
綾町



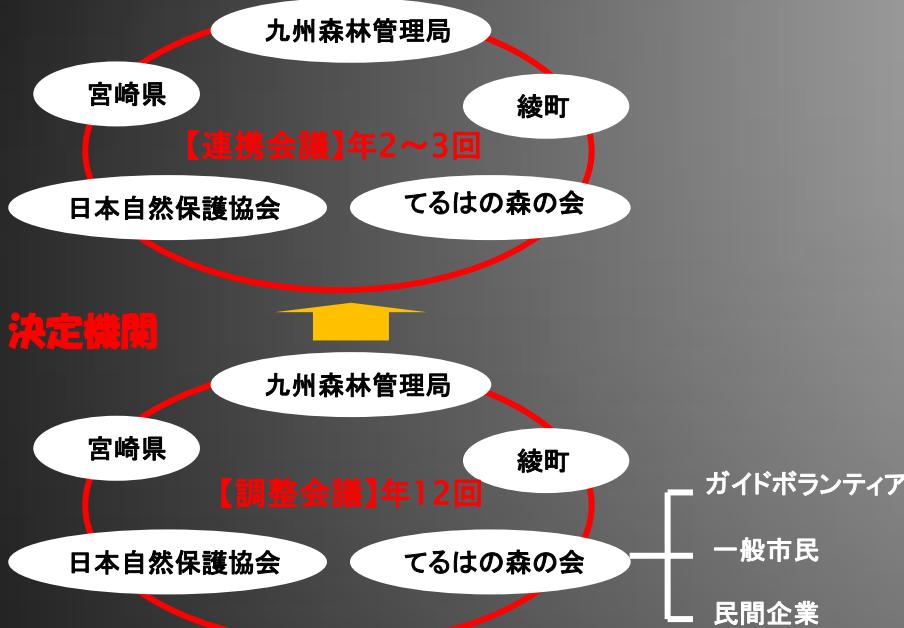
てるはの森の会



日本自然保護協会



行動計画 の評価と見直し



できなかつたことを批判する場ではなく課題を
共有し、解決するための行動を検討する場とする。
お互いの信頼関係が必要

短期行動計画事業検証シート

事業No.	No. 4	事業名	緑の回廊としての照葉樹林帯の創造			
主幹団体	NACS-J、九州森林管理局、					
連携団体						
事業の目的	プロジェクトエリア内の保護林、人工林、二次林からの復元、林業経営、環境教育など森林施業エリアを確定し、各エリアごとの効果的な復元のあり方を決定すること。					
事業の概要	1保護林のエリアの確定 2人工林、二次林からの復元のあり方の検討 3環境教育セラピー的利用の検討 4持続的林業経営を実施					
実施事項	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
	人工林の照葉樹林への復元、保護林及び緑の回廊の設定に係る検討委員会への出席			綾森林生態系保護地域設定委員会への出席		
事業の評価	主幹団体	2	予定していたプロジェクトエリア内のゾーニングを確定し、保護林設定を実施できた。			
	連携先()		復元のあり方について大きな枠組みを設定した。			
	連携先()					
事業の課題	保護林の設定は終了したが、保護林内や周辺を含むエリアおよび各エリアごとの科学的なデータに基づく保護管理計画及び実行計画が策定されていない。					

宮崎県綾町における 照葉樹林保全の枠組み

面積

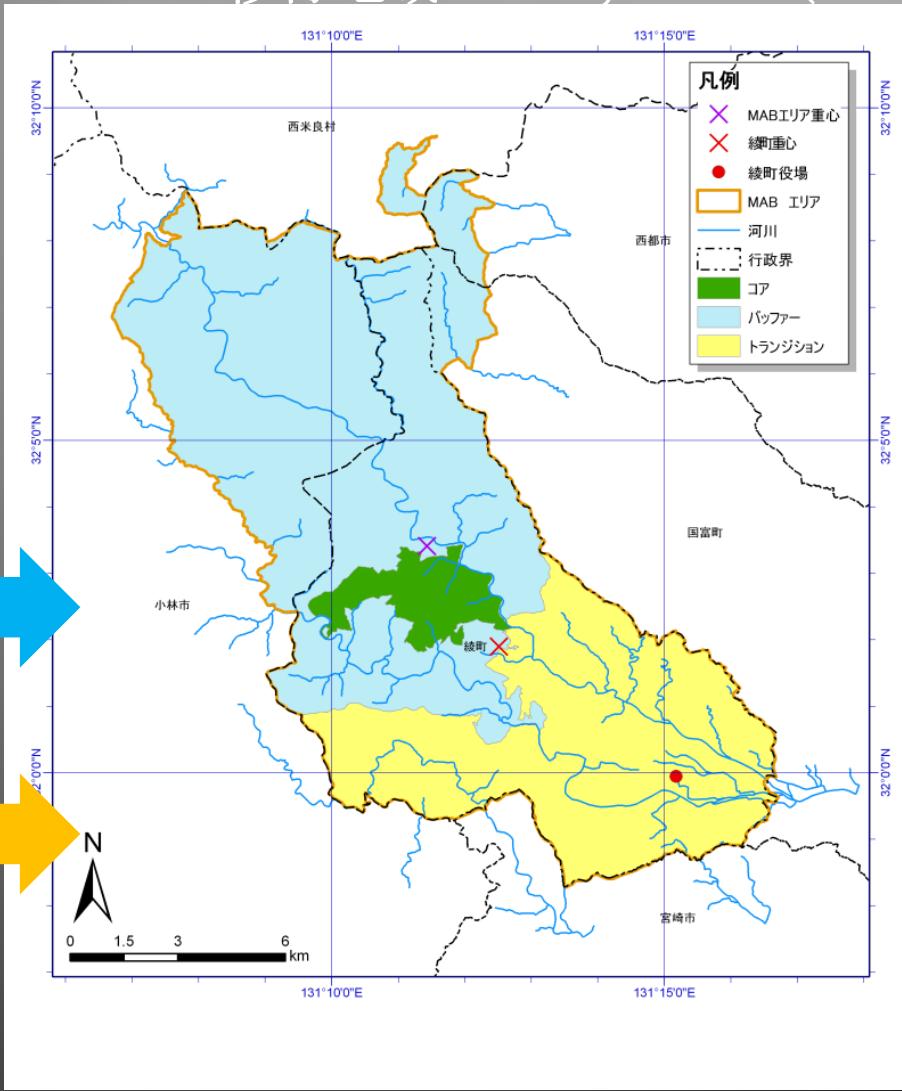
総面積 :	14,580 ha
核心地域	682 ha (4.7%)
緩衝地域	8,982 ha (61.6%)
移行地域	4,916 ha (33.7%)

綾ユネスコエコパーク
地域連携協議会

専門委員会
大学・研究機関

綾の照葉樹林プロジェクト
林野庁・県・町
・てるはの森の会・NACS-J

町づくり協議会
商工会・農林業・観光
教育など





綾町における 生物多様性地域戦略づくり

綾の照葉樹林プロジェクト

町づくり協議会

●2013～2023年度
第2期協定書

●2018～2022年度
林野庁森林経営計画

●2012～2015年度
生物多様性地域戦略策定

綾ユネスコエコパーク
地域連携協議会

2022年度ユネスコエコパーク保全管理計画策定



計画づくりのヒント

計画づくりのためのさまざまな支援

■参考資料 生物多様性地域戦略をもっと知りたい方へ

- ・環境省生物多様性地域戦略策定の手引き：

地域戦略策定済み地方公共団体の情報について
生物分布や保護地域、土地利用に関するデータベース

- ・横浜国立大学グローバルCOE：

日本および海外の生物多様性地域戦略策定の現状について

- ・財団法人東京市町村自治体調査会：

市町村の生物多様性地域戦略策定に向けた提言
～生物多様性の保全及び再生に関する調査報告書～

環境省による支援

地域生物多様性保全活動支援事業 全額補助

生物多様性保全推進支援事業 1／2補助

環境省

HOME | ピックス | 新着情報 | 報道発表 | 窓口案内 |

環境省 > 報道発表資料 >

報道発表資料

平成24年4月6日

平成24年度地域生物多様性保全活動支援事業の採択団体の決定について(お知らせ)

環境省では、平成22年度より、生物多様性に関する法律に基づく法定計画等の策定及び法定計画等に位置づけられた活動について支援する「地域生物多様性保全活動支援事業」を実施しています。今般、平成24年度の選択保全事業が決定しましたので、お知らせいたします。

1. 採択団体一覧

法定計画等(法律名)	採択団体	備考
生物多様性地域戦略(生物多様性基本法)	北海道遠軽町	生物多様性地域戦略の策定
	青森県	生物多様性地域戦略の策定
	宮城県登米市	生物多様性地域戦略の策定
	山形県	生物多様性地域戦略の策定
	東京都目黒区	生物多様性地域戦略の策定
	富山県魚津市	生物多様性地域戦略の策定
	高知県	生物多様性地域戦略の策定
	鹿児島県	生物多様性地域戦略の策定
	鹿児島県霧島市	生物多様性地域戦略の策定
	自然再生事業実施計画(自然再生推進法)	特定非営利活動法人 自然再生センター
保護増殖事業計画(絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律)	新潟県佐渡市	トキに関する保護増殖事業計画の策定
防除実施計画(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)	石川県金沢市	オオキンケイギクの防除に関する実証
地域連携保全活動計画(地域における多様な 主体の連携による生物の多様性の保全のための活動の促進等に関する法律)	兵庫県西宮市	地域連携保全活動計画の策定
	岡山県真庭市	地域連携保全活動計画の策定

2. 地域生物多様性保全活動支援事業の概要

地域における生物多様性の保全に関する法律に基づく計画等の作成を委託事業として支援し、さらに様々な対策を集中的かつ総合的に取り入れ、生物実施し、今後の各地における生物多様性の保全のための活動の促進等に関する法律。

環境省

HOME | ピックス | 新着情報 | 報道発表 | 窓口案内 |

環境省 > 報道発表資料 >

報道発表資料

平成24年4月9日

平成24年度生物多様性保全推進支援事業の報道発表事業の決定について(お知らせ)

環境省では、平成22年度より、地域における生物多様性の保全・再生に資する活動等を支援する「生物多様性保全推進支援事業」を実施しています。今般、平成24年度の選択保全事業が決定しましたので、お知らせします。

1. 1. 採択事業一覧

採択団体(※)	事業名	備考
旭川市生物多様性保全推進支援事業 (北海道旭川市)	旭川市が主務担当者指名事業	外主生防除対策
高知県生物多様性保全推進支援事業 (高知県高知市)	外主生防除対策事業	外主生防除対策
徳島県二日市市生物多様性保全推進支援事業 (徳島県二日市市)	徳島市における生物多様性保全事業	野生動植物保護管理対策
多摩都市開拓農業振興会(東京都狛江市) 狛江市開拓農業振興会(東京都狛江市)	多摩都市開拓農業振興会(東京都狛江市) 狛江市開拓農業振興会(東京都狛江市)	野生動植物保護管理対策 外主生防除対策
コシノゾケ高尾山(山梨県高尾町)	コシノゾケ高尾山(山梨県高尾町)	野生動植物保護管理対策 外主生防除対策
各務原市アラゼンシナリ研究事業 (岐阜県各務原市)	各務原市アラゼンシナリ研究事業	外主生防除対策
アライグマ防除実施会員組織 (京都府)	京都府実施会員組織(京都府実施会員組織)	外主生防除対策
ヒヨウモンモドキ防除実施会員組織 (高島市)	ヒヨウモンモドキの防除事業	野生動植物保護管理対策
滋賀県生物多様性保全(高島市実行委員会)	滋賀県生物多様性保全及び地域戦略策定事業	外主生防除対策 外主生防除対策

2. 生物多様性保全推進支援事業の概要

地域における生物多様性の保全・再生に資する活動等を支援するため、地方公営団体、NPO、地域の活動団体等が行なう「地域生物多様性保全」に寄り付けています。

①野生動植物保護管理対策

・特定鳥類の保護等が課題に位置づけられた事業など、地域における適正な野生動植物保護管理対策であって、団体の生物多様性保全事業の観点から保全実施

・現地監査・アドバイスの実施を実現が課題以上に位置づけられる場合であって、緊急な対策等が必要な場合に限る事業

②外来生物防除対策

・特定外来生物等(要:生態系が生物、国内の衛生環境が持ち込まれた外生種を含む)に限る対策であって、団体の生物多様性保全の観点から保全実施

③農業生物防除対策

・特定農業生物等(要:生態系が生物、国内の衛生環境が持ち込まれた外生種を含む)に限る対策であって、団体の生物多様性保全の観点から保全実施

・持続的な田園地帯等に基づく取組地帯、ユネスコの定める生物多様性保護地帯(AB地)、または被指定の認定する農業地帯もしくは生物多様性保全における

連絡先

環境省生物多様性保全推進支援事業
主担当課:環境政策課
代表: 03-5261-2451
FAX: 03-5261-2454
電子メール: 環境・政策(03-5261-2451)
郵便番号: 100-8905
相談: 100-8905

シンポジウム・セミナーの開催 NACS-J主催

●2012年2月4日(土) 生物多様性地域戦
略づくりのシンポジウム
**「みんなでつくる生物多様性地域戦略 ～暮ら
しと自然の未来像」を開催。120名参加**

●2011年10月8日第483回沖縄大学土曜
教養講座／NACS-J生物多様性の道プロジェ
クト
フォーラム「地域を知るコツ！」
～生物多様性地域戦略につながる第一歩～。
65名参加

●5月3日(木)、宮城県の名取市文化会館小
ホールグリーン復興と生物多様性座談会in名
取「生きものと生きるまち～みんなで考える、
自然の恵みを活かした復興、暮らしと自然の
未来像」を開催。50名参加



地域戦略を普及する！



・GEOC(地球環境パートナーシッププラザ)で
の展示。
海の現状を伝えながら、地域戦略で自然をま
もうと来場者に伝えた。



・丸の内さえずり館で、「ココせん」を紹介する
ミニセミナーを実施しました。

プロジェクトの活動を WEBサイトで発信

- ・生物多様性地域戦略の解説
- ・重点活動地域の最前線情報
- ・地域戦略ガイドブックや手法の紹介
- ・国家戦略への提言 etc...

日本自然保護協会
NACS-J THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

活動紹介 参加型プロジェクト 参加/支援のしかた 日本自然保護協会とは Google 検索

HOME よくある質問 お問い合わせ 会員専用ページ サイトマップ

生物多様性の道プロジェクト
市民が育てる、暮らしと自然の未来像

地域の事例-はじめの一歩

現在、日本各地で「生物多様性地域戦略」づくりが始まっています。ただし、まんどんの地域にとって初めての取り組みであるために、存在すら知られていれば、達成目標が具体的でない・理念だけ、形だけの市民参加・などの心配があります。そんな地域戦略ではくらはくは変わらません。事前事後のローカルセミナーを含め、行政の底辺野や分野を超えたNACS-Jはいっしょになって地域の自然を守る道が見えるてる。そんな「地域戦略」をつくるNACS-Jは考えてます。

まだまだ知らない「生物多様性地域戦略」を全国に広めるほどどうしたらいいか。まずは、NACS-Jが自然保護問題の現場としてかかわってきた現場で、「地域戦略の実戦事例」をつけていくことにしました。

地域の事例 最前線へ進行レポート～

各地域でセミナーや調査などを行なうから、行動による戦略づくりに参加したり、市民版の地域戦略づくりに取り組みます。あなたもぜひご参加ください。

綾町(宮崎県)
最新レポートはこちら

長野県
最新レポートはこちら

沖縄県
最新レポートはこちら

みなかみ町(群馬県)
最新レポートはこちら

下総(千葉県)
最新レポートはこちら

名護市(沖縄県)
最新レポートはこちら

下総(千葉県)
最新レポートはこちら

名護市(沖縄県)
最新レポートはこちら

地域で守りたい大切な場所
「生物多様性の道」

Contents Menu

→ SISPA
→ 里モニ-各地の仲間

Contents Menu

→ SISPA
→ 里モニ-各地の仲間

Contents Menu

日本自然保護協会
NACS-J THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN

活動紹介 参加型プロジェクト 参加/支援のしかた 日本自然保護協会とは Google 検索

HOME よくある質問 お問い合わせ 会員専用ページ サイトマップ

生物多様性の道プロジェクト
市民が育てる、暮らしと自然の未来像

HOME > 参加型プロジェクト > 生物多様性の道プロジェクト2011 TOP > 生物多様性地域戦略とは

あなたの地域の自然、地域戦略で守りませんか。

生物多様性地域戦略とは

まだ明日、じゃ間に合わないから、
生物多様性を守りたいから、
何も知らないから、
美しい生き物を守りたいから、
だから地域戦略

PDFはこちら (521KB)
PDFはこちら (471KB)
PDFはこちら (471KB)
PDFはこちら (549KB)

まだ明日、じゃ間に合わないから、
生物多様性を守りたいから、
何も知らないから、
美しい生き物を守りたいから、
だから地域戦略

PDFはこちら (521KB)
PDFはこちら (471KB)
PDFはこちら (509KB)

生物多様性基本法で定められた「地域戦略」の役割

生物多様性地域戦略は、2008年に制定された生物多様性基本法第10条(注1)で定められました。この法律からみた「地域戦略」のポイントは以下の3点です。

- ・各地方自治体は、地域戦略を策定するよう努めなければならぬこと
- ・生物多様性国家戦略を基本としつつも、講られる必要はないこと(地域の個性を生かした独自の戦略をつくることができる)
- ・複数の自治体をまたいた広域の地域戦略をつくることも可能であること

(注)生物多様性基本法 第二三条、都道府県及び市町村は、生物多様性国家戦略を基本として、単独では又は共同して、当該道府県又は市町村の区域内における生物の多様性の保護及び持続可能な利用に関する基本的な計画(以下「生物多様性地域戦略」といふ)を定めようとするなければならない。

地域の社会と経済を支える生物多様性

生物多様性からもたらされる生態系サービスは、種々な場面で地域の経済や日常生活を支えているだけではなく、「再生可能な資源」であるといつて特徴です。また、生物多様性はその地域の気候や地理・地図によってもたらされた歴史的産業であり、他の地域にない、固有のものが多く含まれます。このような「地域の個性」を生物多様性や生態系サービスから評価し、守り、賢く持続的に利用することが、「地域の財産」として地域を守り、活性化させることにつながるのです。

宮崎県綾町では、自然の生態系を生かして町を日曜日、町全体で有機農業に取り組んでいます。町内の有機野菜は綾先生たち人気があり、アート化に成功している。(左写真は町の有機農業物や工芸品などを販売している手づくりほんものセンター)

2013年3月10日 シンポジウム 生物多様性を活かした地域づくりの今
※無断転載禁止

生物多様性の道プロジェクト

- 生物多様性の道2011 TOP
- 生物多様性地域戦略とは
- 生物多様性地域戦略ガイドブック
- 地域の事例 繼続強化
- 生物多様性の道2010
- お問い合わせ

→ SISPA
→ 里モニ-各地の仲間

Contents Menu

- 参加型プロジェクトTOP
- 自然資源指標
- 自然らべ
- 自然資源コンクール
- 生物多様性の道プロジェクト
- モニクリングサト1000里地調査
- 里モニ
- 東日本海岸調査
- 暮らし自然のつながり再発見!
- 伝えよう日本の自然
- 生物多様性を守るACTIONS+
- AKAYAプロジェクト

日本自然保護協会
(NACS-J)生物多様性の道
プロジェクト
TEL:044-0003
東京都新宿区新宿II-16-10
ショピングモール
TEL:03-3553-4101(代表)
TEL:03-3553-4104(担当)
FAX:03-3553-0139
E-mail: executive@nacs.or.jp

- 地域マップ
- お問い合わせ

国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J) NACS-J事務局

- ▶ 愛知ターゲット達成に取組むことを宣言する
「にじゅうまるプロジェクト」に登録(2011年)

生物多様性保全の見える化、情報共有の場

- ▶ 国連生物多様性の10年日本委員会連携事業に認定(2012年)
ネットワークの輪が広がっている。PRと企業とのマッチング



ご静聴ありがとうございました。

- ▶ NACS-Jの活動は会員や寄付により成り立っています。
- ▶ 是非我々の活動を支援していただき会員になっていただければと思います。

東北海岸プロジェクト

2013年3月10日 シンポジウム
生物多様性を活かした
地域づくりの今
※無断転載禁止



日本自然保護協会